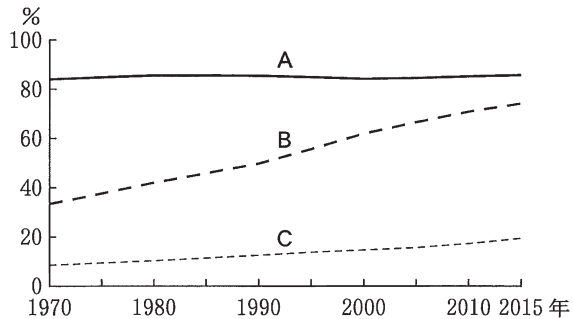


問 4 次の図 3 は、ある三つの国 A～C における都市人口率の推移を示したものであり、下の文サ～スは、A～C のいずれかの国における社会・経済的な状況について述べたものである。A～C とサ～スとの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 16



World Urbanization Prospects により作成。

図 3

- サ 植民地支配のもとで多数のプランテーションが開発されたものの、ルックイースト政策などにより外国資本の導入が進み、工業化の進展が著しい。
- シ 長期的な植民地支配を受けることはなかったものの、モノカルチャー経済の傾向が残っており、近年でも最大の輸出品目はコーヒー豆である。
- ス 鉄鉱石・石炭などの鉱産資源や農畜産物の輸出額が大きいものの、脱工業化が進み、就業人口に占める第 3 次産業就業者の割合が高い。

	①	②	③	④	⑤	⑥
A	サ	サ	シ	シ	ス	ス
B	シ	ス	サ	ス	サ	シ
C	ス	シ	ス	サ	シ	サ

〔2021年度本試（第2日程） 地理B 第3問 問4〕

「都市人口率は経済発展や産業構造の高度化につれて上昇する」というしくみの理解が前提となるが、あとは文章読解のみで解答可能。サ「植民地支配」「工業化の進展が著しい」→都市人口率が上昇傾向のB、シ「モノカルチャー経済」「最大の輸出品目はコーヒー豆」→後発発展途上国を想起して都市人口率が低いC、ス「脱工業化」「第3次産業就業者の割合が高い」→都市人口率が早くから高いAとそれぞれ結びつけられる。なお、文章の特徴から、サ=マレーシア、シ=エチオピア、ス=オーストラリアと具体的な国の判定ができればより確実な判定が可能となる。